

**第1日 1月28日(金) 3部**

<b>6 指導と評価の一体化部会</b>	<b>部会テーマ</b>	<b>資質・能力を育成する指導と評価の一体化</b>			
<b>内 容</b>	学習指導要領において各教科等で育成を目指す資質・能力が明確化され、児童生徒の学習の成果を的確に捉えながら、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図る「指導と評価の一体化」が一層求められている。そこで、当センターの取組や専門家による講話を通して、指導と評価の在り方を考える。				
企画・会場係	総合教育センター	齊藤 真史	記 録 係	総合教育センター	福田 俊彦
機 器 係	総合教育センター	福田 智貴	機 器 係	総合教育センター	福井 智之
受 付 係	総合教育センター	塩野 友佳			

**発表****資質・能力を育成する指導と評価についての取組と課題**

総合教育センター研究調査部 齊藤 真史

3観点による観点別学習状況の評価については、小・中学校において既に全面实施されており、高等学校では、令和4年度より年次進行で実施される。本発表では、総合教育センターで実施している校内研修サポートや調査研究などから見えてきた、学習評価に関する各学校の取組状況や課題について報告する。

**講話****資質・能力を育成する指導と評価の一体化**

京都大学大学院教育学研究科 石井 英真

新学習指導要領の趣旨の実現に向けて、「指導と評価の一体化」がより一層求められている。そこで、改めて、学習評価の在り方について具体的な方法にも触れながら解説し、これからの指導と評価について考える機会とする。